

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脳卒中急性期における軽度構音障害の発話分析に関する後ろ向き研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 内山美保 (リハビリテーション部言語聴覚士)

[研究の概要]

■ 目的・方法

目的：脳卒中急性期に生じる構音障害は、軽症で回復も良好である場合が多く、発話特徴に関する詳細な報告は少ない。本研究では、単音節の交互反復課題に着目した後方視的分析を行い、健常発話者と比較することで、その発話特徴を明らかにすることを目的とする。

方法：単施設で行う後ろ向き観察研究

研究期間：実施承認後～2020年7月末

■ 対象となる患者さん

2016年4月～2019年12月に当院で構音障害に対する言語療法を受けた方のうち、パソコンを用いた発話の評価を行った方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、発症日、画像所見、顔面や舌の麻痺の有無、話しにくさの自覚の有無、認知機能評価Mini mental state examination (MMSE)の点数、音読の所要時間等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

リハビリテーション部 言語聴覚士 内山美保

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971